

志小安全・防災だより



H31.1.21 No.39
安全・防災担当：早坂 潤

「雨一粒に風千石」というお話をいただきました！

1月の下旬に、風が強い日が続きました。外を歩くと体に刺さるような冷たい風が吹いていました。そのとき地域の方に、この辺りは、2月頃から春先まで、雪や雨が少しでも降ると強い風が吹くことがあり、昔の漁師さんは「雨一粒に風千石」と言っていたということをお話をいただきました。その他に

「東風（こち）が吹き始めたら、「しぐれ」くらいでは収まらないので油断するな。」という言い伝えもあるそうです。昔の船は帆掛け船だったので、漁師さんたちは風に関しては特に敏感だったのでしょうか。漁をしている漁船が、この風のために岸に戻れなくなることが度々あり、そのときは島の陰で風がやむのをずっと待っていたそうです。このことを「風待ち」と言っていました。また、春先の強風の他に空気の乾燥も加わり、火災にも十分に気を付けなければならないということも話しておられました。先週の水曜日に少々雪が舞ったのですが、その後に風が強くなりました。歌津方面から来られた先生は、海が荒れ出した話をしていました。この風が、「雨一粒に風千石」に当てはまるかどうかは分かりませんが、このような突然の強風が吹くことを昔の人たちは、雲の流れや潮の香り等でも察することができたと言われます。

沼田地区のバス停がベイサイドアリーナ前へ変更になりました！

10日から、沼田地区のバスの停留所が、あさひ幼稚園前からベイサイドアリーナ前に移りました。大型バスを停車させることでの道路交通法上の問題と、子どもたちの登下校時の車の往来が増えてきたことで、安全性を考えての変更です。沼田地区の保護者の皆様には、大変ご面倒をおかけし、申し訳ありません。先日お話をいただきましたとおり、ベイサイドアリーナに向かって道路を横断する際に十分気を付けるように子どもたちにしっかり声掛けをしていきたいと思っております。停留所等で子どもたちの見守りをしていただき、本当にありがとうございます。

～インフルエンザ予防のためにも！～

インフルエンザの感染を防ぐために、バス内ではマスクを着用することを呼び掛けています。志津川小の周りの学校では、インフルエンザで学級閉鎖も起こり始めています。人が多く集まるところへの出入りはなるべく避けること、手洗い、うがいを欠かさず行うことなどを話しました。

※ 先週の日曜日に、さんさん商店街周辺を自主的にごみ拾いをしていた6年生の4人の友達がいきました。（火ばさみと大きな袋を手に持ち）自分の町を大切に思うこの気持ちをみんなの前で紹介し、褒めました。大変すばらしいことです。



バス停が変更になった初日の様子です。この日は、本吉タクシーの方も早くから来てくださり、乗車の様子を見てくださりました。